

ページ・行	誤	正																																																																												
<p>p.533 図</p>	<p>(2) 高流速オープン形吸込水槽 (渦流防止板付)</p>	<p>(2) 高流速オープン形吸込水槽 (渦流防止板付)</p>																																																																												
<p>p.636 表-14.5</p>	<p>表-14.5 鉄筋の許容応力 σ_{sa} (N/mm²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">鉄筋の種類</th> <th>SR235</th> <th>SD295A SD295B</th> <th>SD345^{注1)}</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">引張り応力</td> <td>荷重の組合せに一部の部材</td> <td>137</td> <td>176</td> <td>196</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衝突荷重あるいは地震の影響を含まない場合</td> <td>137</td> <td>157</td> <td>176^{注2)}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>荷重の組合せに衝突荷重あるいは地震の影響を含む場合の許容応力の基本値</td> <td>137</td> <td>176</td> <td>196</td> <td>割増し係数は表-16.6 参照</td> </tr> <tr> <td>鉄筋の重ね継手長あるいは定着長を算出する場合</td> <td>137</td> <td>176</td> <td>196</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床版など自動車の輪荷重の影響を強く受ける場合</td> <td>137</td> <td>137</td> <td>137</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">圧 縮 応 力</td> <td>137</td> <td>176</td> <td>196</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	鉄筋の種類		SR235	SD295A SD295B	SD345 ^{注1)}	備 考	引張り応力	荷重の組合せに一部の部材	137	176	196		衝突荷重あるいは地震の影響を含まない場合	137	157	176 ^{注2)}		荷重の組合せに衝突荷重あるいは地震の影響を含む場合の許容応力の基本値	137	176	196	割増し係数は表-16.6 参照	鉄筋の重ね継手長あるいは定着長を算出する場合	137	176	196		床版など自動車の輪荷重の影響を強く受ける場合	137	137	137		圧 縮 応 力		137	176	196		<p>表-14.5 鉄筋の許容応力 σ_{sa} (N/mm²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">鉄筋の種類</th> <th>SR235</th> <th>SD295A SD295B</th> <th>SD345^{注1)}</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">引張り応力</td> <td>荷重の組合せに一部の部材</td> <td>137</td> <td>176</td> <td>196^{注2)}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>衝突荷重あるいは地震の影響を含まない場合</td> <td>137</td> <td>157</td> <td>176</td> <td></td> </tr> <tr> <td>荷重の組合せに衝突荷重あるいは地震の影響を含む場合の許容応力の基本値</td> <td>137</td> <td>176</td> <td>196</td> <td>割増し係数は表-16.6 参照</td> </tr> <tr> <td>鉄筋の重ね継手長あるいは定着長を算出する場合</td> <td>137</td> <td>176</td> <td>196</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床版など自動車の輪荷重の影響を強く受ける場合</td> <td>137</td> <td>137</td> <td>137</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">圧 縮 応 力</td> <td>137</td> <td>176</td> <td>196</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	鉄筋の種類		SR235	SD295A SD295B	SD345 ^{注1)}	備 考	引張り応力	荷重の組合せに一部の部材	137	176	196 ^{注2)}		衝突荷重あるいは地震の影響を含まない場合	137	157	176		荷重の組合せに衝突荷重あるいは地震の影響を含む場合の許容応力の基本値	137	176	196	割増し係数は表-16.6 参照	鉄筋の重ね継手長あるいは定着長を算出する場合	137	176	196		床版など自動車の輪荷重の影響を強く受ける場合	137	137	137		圧 縮 応 力		137	176	196	
鉄筋の種類		SR235	SD295A SD295B	SD345 ^{注1)}	備 考																																																																									
引張り応力	荷重の組合せに一部の部材	137	176	196																																																																										
	衝突荷重あるいは地震の影響を含まない場合	137	157	176 ^{注2)}																																																																										
	荷重の組合せに衝突荷重あるいは地震の影響を含む場合の許容応力の基本値	137	176	196	割増し係数は表-16.6 参照																																																																									
	鉄筋の重ね継手長あるいは定着長を算出する場合	137	176	196																																																																										
	床版など自動車の輪荷重の影響を強く受ける場合	137	137	137																																																																										
圧 縮 応 力		137	176	196																																																																										
鉄筋の種類		SR235	SD295A SD295B	SD345 ^{注1)}	備 考																																																																									
引張り応力	荷重の組合せに一部の部材	137	176	196 ^{注2)}																																																																										
	衝突荷重あるいは地震の影響を含まない場合	137	157	176																																																																										
	荷重の組合せに衝突荷重あるいは地震の影響を含む場合の許容応力の基本値	137	176	196	割増し係数は表-16.6 参照																																																																									
	鉄筋の重ね継手長あるいは定着長を算出する場合	137	176	196																																																																										
	床版など自動車の輪荷重の影響を強く受ける場合	137	137	137																																																																										
圧 縮 応 力		137	176	196																																																																										
<p>p.808 4 行目</p>	<p>・吸込水槽の渦に対しては、渦流防止装置、整流板等を取付けたり、吸込ベルの没水深を増やす。</p>	<p>・吸込水槽の渦に対しては、渦流防止装置、整流板等を取付けたり、吸込ベルの没水深を増やす。</p>																																																																												